



KYFA

女子委員会

K Y F A 第 4 3 回九州女子サッカー選手権大会 (兼 皇后杯 J F A 第 4 7 回全日本女子サッカー選手権大会九州地域予選) 実 施 要 項 (最終稿)

- 1. 主 旨** (一社) 九州サッカー協会は、九州地域における女子のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学1年生以上の登録選手を対象とした九州で最も権威のある単独チームの大会として実施する。
- 2. 名 称** K Y F A 第 4 3 回九州女子サッカー選手権大会
(兼 皇后杯 JFA 第 47 回全日本女子サッカー選手権大会九州地域予選)
- 3. 主 催** 一般社団法人 九州サッカー協会
- 4. 主 管** 一般社団法人 大分県サッカー協会
- 5. 後 援** 別府市・別府市教育委員会 (予定)
- 6. 協 賛** (株) モルテン・名鉄観光サービス (株)
- 7. 日 程**
開 催 日： 2025 年 9 月 20 日 (土) <1回戦>
9 月 21 日 (日) <2回戦>
9 月 22 日 (月) <代表決定戦>
会 場： 大分県別府市実相寺サッカー競技場 (天然芝・人工芝)
(大分県別府市大字鶴見 3 7 6 3 番地の 1)
別府市野口原総合運動場 (天然芝)
(大分県別府市別府 3 0 1 6 - 1)
組 合 せ： 代表者会議において抽選を行い決定する。
代表者会議： 日時 2025 年 8 月 26 日 (火) 19:30 ~ WEB 会議で行う。
開 会 式： 実施しない

8. 参加資格

- (1) (公財)日本サッカー協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
- (2) 2013 年 (平成 25 年) 4 月 1 日以前に生まれた女子選手であり、2025 年 8 月 22 日 (金) まで

に(公財)日本サッカー協会に登録(追加登録も含む)されていること。小学生は出場できない。
また、中学生以下の選手だけの大会参加申込は不可とする。

(3) クラブ申請制度の適用

日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手(複数人可)については、所属チームから移籍することなく、上記(1)のチームで参加することができる。ただし、参加する選手については以下のすべてを満たしていること。

- ① 上記(2)を満たしていること。
- ② 下記種別区分のチームに所属していること。

参加チームの種別区分	同一「クラブ」内のチーム登録種別区分
WE リーグ・なでしこリーグ・一般・大学	高校・クラブ(高校生)・中学・クラブ(中学生)・(男子)2種・(男子)3種
高校・クラブ(高校生)	中学・クラブ(中学生)・(男子)3種

③ 本大会の予選を通して、選手は他のチームで出場していないこと。

(4) 外国籍選手: 5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。

(5) 移籍選手: 本大会の予選を通して、選手は他のチームで出場していないこと。

9. 参加チームとその数

参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。

九州各県代表チーム(各県1代表)8チーム

九州女子サッカーリーグ(Qリーグ)1部所属 前期成績上位8チーム

10. 大会形式 ノックアウト方式

決勝戦は行わず代表決定戦とする(全国大会に2チーム出場)

*第1代表、第2代表については抽選にて決定する。

11. 競技規則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

12. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールド表面は平坦で常緑な天然芝であり、ピッチサイズは原則105m×68mであること。
ただし、ロングパイル人工芝基準を満たした人工芝でも可である。

(2) ボール

試合球はモルテン社製ボール『ヴァンタッジオ4900(芝用)品番: F5N4900』とする。

(3) 競技者の数

①競技者の数: 11名

②交代要員の数: 9名以内

③交代を行うことができる数: 5名以内 以下、本項に基づく交代を「通常交代」という。

a. 試合中の交代は、各チーム最大3回とする(1回に複数人を交代することは可能)。ハーフ

タイムの交代は回数に含まれない。

b. 延長戦が行われる場合、さらに 1 名かつ 1 回の交代を行うことができる（直前の 80 分間と合わせて最大 6 名かつ 4 回の交代が可能となる）。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。

④脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。

a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。

b. 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。

c. 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。

d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1 名 1 回の交代を追加で得ることができる（以下、本項に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、追加交代および通常交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。

e. 1 試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ 1 名とする。

④ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3 名以内

(4) 役員の数 ベンチ入りができる役員の数：6 名以内

(5) テクニカルエリア：

戦術的指示はテクニカルエリア内から都度 1 名が伝えることができる。

(6) 競技者の用具

① ユニフォーム

a. (公財) 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

b. 以下のいずれかに該当するチームは、各リーグのユニフォーム要項で認められたユニフォームであれば、本大会でも使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。

チーム	適用されるユニフォーム要項（リーグ）
J クラブ傘下のチーム	公益社団法人日本プロサッカーリーグ（J リーグ）
日本女子プロサッカーリーグ（WE リーグ）加盟チーム	公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ（WE リーグ）
日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）加盟チーム	一般社団法人日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）

この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備できる場合のみ使用を認められる。

c. フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）を用意のうえ、参加申込の際所定の様式にて提出し、各試合には正副両方を必ず携行すること。

d. 各試合で使用するユニフォームは、MCM時に決定する。チーム都合による変更は認められない。両チームは試合当日、正副ユニフォーム現物を持参し、審判員立会いのもと確認を行う。その際、審判員が判定に影響があると判断した場合には、使用するユニフォーム

を変更することができる。

- e. シャツの前面・背面に、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- f. ユニフォームの色、選手番号については、参加申込〆切後の変更は認められない。
- g. ユニフォームへの広告表示については、本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。

(7) 試合時間

- ① 試合時間は 80 分（前後半各 40 分）とする。

　　ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 10 分間

- ② 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

　　20 分（前・後半 10 分）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝者を決定する。

　　□ 延長戦に入る前のインターバル：5 分間

　　□ PK戦に入る前のインターバル：1 分間

- ③ アディショナルタイムの表示：行う

(8) マッチコーディネーションミーティング：70 分前に行う。

(9) その他

- ① 第4の審判員の任命：行う

- ② ベンチ入りできる人数は最大 15 名（交代要員 9 名、役員 6 名）とする。

- ③ メンバー提出用紙：試合開始 80 分前までに本部に出場選手の登録選手証と共に提出する。（監督署名・ユニフォームカラーは無記入）

13. 懲罰

- (1) 本大会の県予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。
- (2) 本大会は、日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき本大会に係る懲罰問題を処理するため大会規律委員会を設置する。
- (3) 大会規律委員会の委員長は女子委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手等は、次の 1 試合に出場できない。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (6) 本実施要項に記載事項のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

14. 大会参加申込

- (1) 参加申込書に登録し得る人員は役員 9 名・選手 30 名までとする。参加申込みした最大 30 名の選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大 20 名、役員 6 名を選出する。
- (2) 参加申込は、（公財）日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICK OFF」にて必要事項を入力の上、参加申し込み手続きとする。尚、WEB 登録システムの利用方法については別途案内する。
- (3) プライバシーポリシー、懲罰処分アンケートについては kick off システムより添付ファイルにて提出すること。

- (4) 申込締切日 2025年 8月 22日（金）15:00時 必着
- (5) 上記(4)の申込締切り以降の申込書内容の変更は原則認めない。ただし役員の変更は可能とする。役員の変更については試合当日の試合開始80分前までに「役員変更届」にて届け出ること。
- (6) 参加申込みは、「KICK OFF システム」での「最終承認」の完了と「参加費の振込み」が完了したことで認める。
- *「最終承認」と「参加費の振込み」が完了していない場合にはいかなる理由があろうと、本大会参加を認めない。

15. 参加料 35,000円（必ず口座振り込みとする。）

期限日までに、下記振込先まで振込むこと。但し、手数料については、各チーム負担とする。

期限日：2025年 8月 22日（金）15:00時

（ゆうちょ銀行からの振込）

振込先：ゆうちょ銀行 記号：17410 番号：76565381

口座名義：（シャ）キュウシュウサッカーキョウカイ

（ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込）

振込先：ゆうちょ銀行 店名：七四八（読み ナナヨンハチ）

店番：748 預金種目：普通預金 口座番号：7656538

16. 選手証

（公財）日本サッカー協会登録及び本大会に参加申込みを完了した選手のみが出場する権利を有する。

各チームの登録選手は、原則として（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により顔の認識ができるものであること。

*選手証とは、（公財）日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICK OFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものまた、スマートフォンやPC等の画面に表示したものと示す。

17. 表彰

- (1) 代表権獲得2チームに表彰状ならび楯を授与する。
- (2) 表彰式は代表決定戦終了後に試合会場にて行う。
- (3) 代表チームは皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会への出場資格と義務を得る。 2025年11月 8日～全国各地

18. 交通・宿泊

- (1) 交通費・宿泊費は全てチーム負担とする。
- (2) 宿泊等は下記のとおり。

名鉄観光サービス株式会社（大分支店）097-534-7607

担当者 坂井柊斗（さかいしゅうと）、中井真司（なかいしんじ）

携帯電話 080-8655-8028 E-mail: oita-sports1@mwt.co.jp

19. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催側は原則として応急処置のみを行うものとする。

20. その他の

- (1) 大会規律に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (2) 大会要項に規定されていない事項については本大会競技委員会において協議の上決定する。
- (3) 代表者会議（WEB会議）に遅刻または不参加の場合には本大会競技委員会において処分の対象となりうることもある。
- (4) 出場チームは、大会運営を円滑にするため「競技運営上の注意事項について」を遵守すること。（別途送信）
- (5) その他お尋ね等ございましたら、下記までご連絡ください。

大分県サッカー協会 女子委員長 荒川 幸大

携帯電話 : 090-1519-2014 Mail : gta.19830707@gmail.com

九州サッカー協会 女子委員会 三ツ元政行

携帯電話 : 090-3322-8741 Mail : mitsumoto@btvm.ne.jp

21. 付記

雷、台風等の自然災害時においては可能な限り限られた範囲内で最大限大会を実施する。実施不可能と判断された場合は大会競技委員会において対応を決定する。対応策がない場合は抽選で決定する。その際、原則として大会参加料は返金しないものとする。